

<b>留 学 報 告 書</b>
------------------

記入日:2017年6月14日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: ビュートカレッジ 現地言語: 英語/Butte College
留学期間	2016年8月～2017年5月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	1年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2017年6月2日
明治大学卒業予定年	2019年3月

留学費用項目	現地通貨 (ドル)	円	備考
授業料	5,000	500,000円	
宿舍費	6,500	650,000円	
食費	2,650	265,000円	
渡航旅費	2,000	200,000円	
その他	3,850	385,000円	旅行、一時帰国の渡航費など
合計	20,000	2,000,000円	

滞在形態関連	
<b>1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)</b>	
学生寮	
<b>2)部屋の形態</b>	
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 OR <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 )	
<b>3)住居を探した方法:</b>	
学校の web サイトから	
<b>4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)</b>	
寮の食事が単調なもので、序盤に飽きて少し辛かった。また、個室だったので、好きなように過ごせるのは快適だったが、部屋にこもりがちになってしまう人もいた。ホームステイの場合は毎日必ずホストファミリーと会話できるため、積極的に外に出るのが苦手な人はホームステイを選ぶとよいかもかもしれない。	
現地情報	
<b>1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?</b>	
<input checked="" type="checkbox"/> 利用する機会が無かった <input type="checkbox"/> 利用した:	
<b>2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。</b>	
留学生を担当している事務の方に相談した。相談窓口もあった。	
<b>3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?</b>	
ネットで調べたり、現地でできた知人に尋ねた。留学先が田舎で比較的安全であり、危険地域は特にはなかったが、夜遅くに1人で出歩かないなどの基本的な防犯対策はした。犯罪には巻き込まれなかった。	
<b>4)パソコン, 携帯電話, インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。</b> (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)	
学校と寮にはWi-Fiが完備されていたが、寮のWi-Fiが少し遅く、動画を見たり重いファイルを開く際には時間がかかることがあった。時々接続も不安定になることもあったが、大体は使用できた。	
<b>5)現地での資金調達はどのように行いましたか? (例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)</b>	
現地に銀行口座を開設して、両親に日本から送金してもらった。クレジットカードも併用していた。	
<b>6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。</b>	
日本のお菓子	
<b>7)授業料の支払方法, 支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った, 現地で開設した銀行のチェックで支払った, 渡航前に留学先大学から指示があった, 渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)</b>	
渡航後のオリエンテーションで、支払いに関する案内があった。クレジットカードで支払った。	
卒業後の進路について	
<b>留学を通して生じた, 今後の進路についての考えについて教えてください。</b>	
留学で様々な人種、国籍の人とかがわったことで、多様な人種の人と一緒に働ける環境に身を置きたいと思った。また、海外出張ができるような仕事がしたいと考えるようになった。	

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)	
1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
27 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 単位(未定) <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Art History Survey	美術史
科目設置学部・研究科	
履修期間	2016 秋学期
単位数	3 単位
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	David Cooper
授業内容	古代からバロック時代までの芸術の歴史について。主に建築物や像について学んだ。
試験・課題など	テスト 3 回、レポート 1 回
感想を自由記入	授業で学ぶ内容が専門的で、暗記するのに苦労した。美術品における男女の表現の違いなどを詳しく勉強し、とても興味深い授業だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Historic Costume	ファッション史
科目設置学部・研究科	
履修期間	2016 秋学期
単位数	3 単位
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	少人数の講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Julie Demaggio
授業内容	ファッションの歴史、その時代背景や特徴などについて学ぶ授業
試験・課題など	テスト 2 回、レポート 2 回
感想を自由記入	4 か月で前時代のファッション史を学習するため、あまり深くは掘り下げず、表面をざっと学ぶような授業だった。昔のファッションを取り入れている現代の洋服を探したりする楽しい授業だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Exploring Contemporary TV	現代のテレビについて
科目設置学部・研究科	
履修期間	2016 秋学期

単位数	3 単位
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	
授業内容	現代のドラマについて学ぶ授業。
試験・課題など	毎週レポート、テスト 2 回
感想を自由記入	毎回授業でアメリカのドラマを見たり、日本のドラマとの違いを発見したり、素直にドラマを楽しめる授業だった。ペアワークやグループワークがあり、ネイティブの学生に毎回助けてもらっていた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
College & Life Success		学校と人生における成功	
科目設置学部・研究科			
履修期間	2016 秋学期		
単位数	3 単位		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回		
担当教授	Laura Nelson		
授業内容	自分の将来のキャリアや成功のために今何をすべきか、カレッジをどう活用すべきかを学ぶ授業。		
試験・課題など	レポート 2 回		
感想を自由記入	将来のことを考え、設計するような授業だと思って受けたところ、主に学校生活について学ぶ授業だった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
The Asian American		アジアアメリカン	
科目設置学部・研究科			
履修期間	2016 秋学期		
単位数	3 単位		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 150 分が 1 回		
担当教授	Alicia Trider		
授業内容	アジアアメリカンの歴史や現在抱えている問題について学ぶ授業。		
試験・課題など	毎週レポートとミニクイズ		
感想を自由記入	アジアアメリカンについて知らないことばかりで、自分の無知さに驚いた。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Gender and Communication		ジェンダーとコミュニケーション	
科目設置学部・研究科			
履修期間	2017 春学期		

単位数	3 単位
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Laura Rapozo-Davis
授業内容	男女のコミュニケーションスタイルや、現代のジェンダー問題について学習した。
試験・課題など	2週間に 1 回位程度のレポート、ミニクイズ 5 回、プレゼンテーション 1 回、テスト 3 回
感想を自由記入	先生がとても親身に教えてくださり、授業内で理解できなかったところも詳しく解説してくださった。積極的に発言するクラスメイトが多かったので、いろいろな意見を聞くことができた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Multi-Cultural Film & Literature	多文化の映画、文学
科目設置学部・研究科	
履修期間	2017 春学期
単位数	3 単位
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 110 分が 2 回
担当教授	Mark McKinon
授業内容	様々な国の映画を見て文化や歴史を学ぶ。
試験・課題など	レポート 5 回
感想を自由記入	チリやブラジル、インド映画を初めて観て、どれも深く考えさせられるようなおもしろい映画だった。またそれらの国についても学ぶことができた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Intercultural Communication	異文化コミュニケーション
科目設置学部・研究科	
履修期間	2017 春学期
単位数	3 単位
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 1 回
担当教授	Tom Grothe
授業内容	異文化コミュニケーションの方法や、多様な文化について学ぶ授業。
試験・課題など	レポート 3 回、テスト 3 回
感想を自由記入	グループワークが多く、クラスメイトと仲良くなれる授業だった。先生もとても親切で、毎回楽しみな授業のうちのひとつだった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Life Management	人生設計
科目設置学部・研究科	

履修期間	2017 春学期
単位数	3 単位
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Jennifer Hightower
授業内容	自分の将来のキャリアについて、また充実した生活を送るためには何をどうすべきか学ぶ授業。
しけん・かだいなど	隔週でレポートとミニクイズ、テスト 2 回
感想を自由記入	自分の人生について深く考えるような授業だった。この授業を受けた前と後では、自分の今後に対する考え方が少し変わった。

## 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備, 試験勉強, 留学中, 留学後, 特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例: 語学試験の勉強, 選考, 出願, 留学中の中間試験, 期末試験, その他イベント等

2015年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	9月:本格的に留学を視野に入れる
10月～12月	10月:TOEFLの勉強 11月:TOEFL受験、留学出願 12月:選考面接
2016年 1月～3月	1月:留学確定 3月:出発時期確定
4月～7月	6月:留学先別説明会、留学先住居の確定、航空券の確保
8月～9月	8月:留学開始、留学生オリエンテーション、秋学期授業開始
10月～12月	10月:中間試験 11月:1週間の休み 12月:期末テスト
2017年 1月～3月	1月:春学期開始 3月:1週間の休み、中間テスト
4月～7月	5月:期末試験、春学期終了 6月:帰国
8月～9月	
10月～12月	

## 留学体験記

留学しようと決めた理由	高校生のころから1年間の留学にあこがれていたため、1年生の8月に国際日本学部のプログラムを利用して、1か月の短期留学をしました。ほんの1か月でしたが、とても楽しくて、すべてが新鮮でまた海外に行きたいと強く思うようになりました。しかしそのモチベーションを保つことができず、英語の勉強に身が入らない時期があり、留学をあきらめようとも思っていました。最終的に、1か月の短期留学の楽しかった経験が忘れられなかったのと、留学をして英語力を向上させようと思ったため、留学を決心しました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	語学力と積極性です。私は、もともと英語に対して少し苦手意識があったり、なかなか勉強に集中できなかつたりして、語学力が低いほうでした。TOEFLの点数も留学できる点数ギリギリであったにもかかわらず、留学すればどうにかならうと、留学前の英語学習を怠っていたような節がありました。しかし、留学生活が始まってすぐネイティブの学生たちと同じ授業を受けなくてはならないため、留学早々、もっとリスニングとスピーキングの勉強しておくべきだったと後悔しました。また、私は積極的に発言するのが苦手で、留学中も授業でなかなか発言できず、悩んだことがありました。日本にいる間に、授業で積極的に発言をして慣れておくべきだったなと思いました。
この留学先を選んだ理由	正直に言うと、TOEFLの点数があまり良くなかったため、私が出願できる学校がビュートカレッジしかなかったからです。しかしカリフォルニアに行ってみたくかったこと、寒さが苦手なので、比較的暖かい気候の地域を考えていたこと、都会よりは田舎の学校に行ってみたくかったこと、授業料がほかの学校より安かったことなどもこの留学先を選んだ理由です。留学をしようと決心するのが遅かったため、十分にTOEFLの準備ができず、当然結果もよくなかったため、私には選択肢がこの学校しかありませんでしたが、運よく自分が留学先に臨んでいた条件と合致していたので、ビュートカレッジに決めました。
大学・学生の雰囲気	周りには山や草原しかないような田舎の学校だったため、学校の雰囲気自体も学生もとても穏やかでした。想像していたより、キャンパスもきれいで清潔でした。ビュートカレッジには日本語の授業があり、日本に興味がある学生も多くいました。私が日本人だと分かると日本語で話しかけてくれたり、日本について色々質問してくれたりしました。また親切な人が多く、授業で分からないことがあったときは、先生やクラスメイトが丁寧に教えてくれたり、グループワークでもネイティブの学生によく助けてもらっていました。親切で穏やかな学校でした。
寮の雰囲気	寮は全部で3棟あり、合計700人ほどが暮らす、規模が大きなものでした。私が留学していたビュートカレッジの学生だけではなく、すぐ近くにあるカリフォルニア州立大学チコ校の学生も多くいました。毎月のように寮主催のイベントがあったり、大食堂、プールがあったりと、寮に住む学生と頻りに交流できる機会がありました。また、寮には事務やパソコンルームがあり、どちらも24時間利用できるのもとても便利でした。スターバックスやプールもあり、暇なときは友達とこれらの場所で時間をつぶすこともありました。
交友関係	留学当初は英語もうまく話せず、また何を話していいのかわからず会話が続きにくいことも多かったのですが、寮でできた友達やオリエンテーションで仲良くなった他国の留学生とも毎日顔を合わせて話しているうちに、徐々に打ち解けていきました。その友達の友達と仲が良くなっていったりと、だんだんと友達が増えていきました。また前期はルームメイトがいまいませんでしたが、後期からはルームメイトができたことで、部屋に戻っても友達がいるという、より充実した生活を送ることができました。しかし、外に出るのが億劫だったり、うまく会話できなくて休日など部屋にこもりがちになってしまった時期もありました。
困ったこと、大変だったこと	一番大変だったことは、英語でコミュニケーションをとることの難しさです。言いたいことをうまく言えなかつたり、相手が言っていることを2回くらい聞き返してもわからない時が一番大変でした。最初のうちは、自分の語学力のなさに打ちひしがれていました。また、自分の性格上、積極的に新たに知り合った人と関わることができず、もっと話しかけなきゃ、うまく話しなきゃと焦ってしまうことがあり、コミュニケーション能力のなさを実感して、かなりの自己嫌悪に陥ることもありました。
学習内容・勉強について	前期はアートやファッション、後期は映画の授業など芸術系の授業を多く取りました。専門的な内容から、芸術作品を見て自分で考察するようなものまで、知識と考察力のどちらも伸ばすような授業が多かったです。最初は、なかなか授業のスピードについていけず大変でしたが、クラスメイトや先生が授業後に丁寧に説明して下さり、最終的には理解することができました。しかし、グループワークや授業であまり発言できなかったことが心残りです。もっと積極的にならなければならなかったなと、少しだけ後悔しています。



課題・試験について	課題の量が膨大で、とにかく終わらせることに必死でした。毎週最低2教科ほどはレポートが課されていたため、週末でも気を抜かず、朝までかかって何とか提出に間に合わせたことも何度もありました。ルームメイトや友達が添削してくれたり、アドバイスをくれたりと、周りの人に助けをもらうことも多かったです。自分の部屋だと集中できないので、寮のパソコンルームや近くのカフェで、友達と一緒に課題をすることが多かったです。また試験は比較的簡単なものが多く、事前にしっかり準備をしておけば点数をとれるものでした。
大学外の活動について	アジアンクリスチャンの集いに数回参加しました。クリスチャンでなくても参加でき、聖書について学んだり、レクやゲームのようなものをして、最後に一緒に夕飯を食べるといった交流会のようなものでした。この集まりで、様々な国のアジア圏の人たちと仲良くなることができました。また他大学の日本に関するイベントに参加して、日本の文化をアピールしました。大学の留学生のクラブに所属していたことと、大学内外の友達と個人的に遊ぶことが多かったため、大学外での活動はあまり活発ではありませんでした。
留学を志す人へ 「これを知っておいて欲しい」と思うこと、アドバイス等	1年間の留学は、長いようでとても短いものです。考えるよりまず行動することが大切かもしれません。とにかく自分から何かアクションを起こさないと、待っているだけでは何も始まらないと肝に銘じておくべきです。正直私は、もっとあずればよかった、こうすればよかったと後悔していることもいくつかあります。もちろん留学で得られたこと、学んだことはたくさんありますし、満足はしていますが、思い返すともっとうまくやれたなと思ってしまうことがあり、悔しいです。1年間もあるんだからと、のんびりしてしまっていました。留学では積極的に行動しましょう。積極的に活発に動くことが、留学において何よりも必要です。

## 一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中		授業		授業		課題、自習	sacrament (チコより都会の町)へ出かける
	授業	友達と話す	授業	コミュニティセンターへ行く	カフェで課題、自習	〃	〃
午後	授業	授業	授業	授業	〃	休憩	〃
	授業	課題	授業	ジム	〃	課題、自習	〃
夕刻	ジム	ルームメイトとテレビを見るなど	ルームメイトと遊ぶ	卓球	アジアンクリスチャンの集い	遊ぶ	課題、自習
夜	課題	〃	〃	〃	友達と遊ぶ	遊ぶ	早めに就寝